



# 本だいま

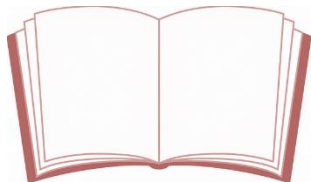
こくぶんじとしょかん 国分寺図書館だより

れいわ ねん ど はるこう 令和5年度 春号



## あたらしいほん & CDのしょうかい

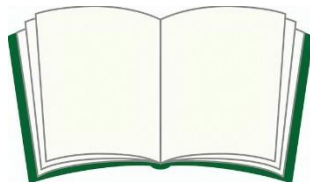
### ★児童書★



『ありがとう なかよし』

しもかわら ゆみ／作  
こうだんしゃ しゅつぱん  
講談社／出版

E/シモ



『日本の歴史9 江戸幕府誕生』

まきはら しげゆき かんしゅう  
牧原 成征／監修  
あらいじゆんや  
新井淳也／まんが  
しょうがくかん しゅつぱん  
小学館／出版

210/ニホー9

あるひ、ころびかけたねずみくんは、とかげくんに助けられました。

ねずみくんは「ありがとう」とお礼を伝え、お花をとかげくんにあげます。

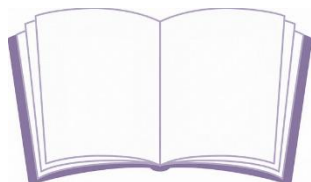
すると、とかげくんも「ありがとう」と返してくれました。

小さなきっかけで、二人の仲が深まっていく様子がとても微笑ましく、温かい気持ちにさせてくれる一冊です。

人気シリーズ「日本の歴史」の最新版で、9巻は、今年の大河ドラマでもとりあげられる江戸時代編です。豊臣秀吉の死から、徳川3代将軍家光の時代までが描かれ、泰平の世が築きあげられた仕組みがよく分かり、忠実な歴史資料として読み応えのある1冊です。

「①日本文化のあけぼの」～「⑳平成から令和へ」まで、全20巻です。

### ★一般書★

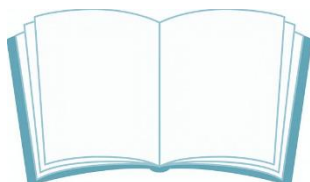


『につぼんのススメ』

こみや てるゆき かんしゅう  
小宮 輝之／監修  
なかの しゃしん  
中野さとる／写真

カンゼン／出版

4889/ ニツ



『中国パンダ外交史』

こうだんしゃせんしよ  
講談社選書メチエ  
いえなが まさき ちよ  
家永真幸／著  
こうだんしゃ しゅつぱん  
講談社／出版

ススメは、寄生虫の予防と除去のため、水浴びと砂浴びの両方を行う珍しいタイプです。

群れで行動しますが、ケンカもよくします。

毎日どう生きているのか、ススメ愛好家が撮影した愛らしい写真とともに生態をみてみましょう。

2月に4頭のジャイアントパンダが中国に「帰国」しました。16頭もの子パンダのお父さん「永明」も28年ぶりにふるさとへ。さびしいけれど元気だね。

この「帰国（返還）」は、パンダが繁殖研究目的の一時的な「レンタル」であるためですが、50年前、日本に初めてやってきた「カンカン」「ランラン」は、中国政府からの贈り物でした。大人気のパンダを外国へ贈ったり貸与したりする、中国の「パンダ外交」を通して中国の近現代史の一面を知ることができます。

### ★CD★

『INTRADA』

はせがわ ともゆき えんもろ エムクラシクス  
長谷川 智之／演奏・トランペット&コルネット MClassics／レーベル 15/ハセ



2017年にNHK交響楽団の首席トランペット奏者になった長谷川智之のデビューアルバムです。

なかでも、「イウェイゼン」はトランペット、ピアノ、ヴァイオリンの三重奏で各楽器の魅力が十分に引き出されている、とても聴きごたえのある一曲です。

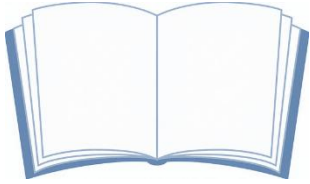


かみしばい たの  
「紙芝居を楽しもう！」



こんかい としよかんいん  
今回は図書館員おすすめの  
かみしばい しやうかい  
「紙芝居」を紹介します

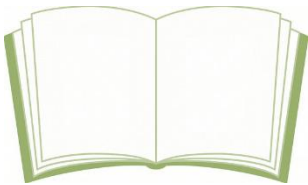
『あひるさんとにわとりさん』



むらやま かずこ げんさく  
村山壽子／原作  
むらやま あど きやくほん  
村山亜土／脚本  
むらやま ともよし え  
村山知義／絵  
どうしんしゃ しゅつぱん  
童心社／出版

あひるとにわとりを主人公に、なかよしだったりけんかしたり  
の短いおはなしが3つ。  
読んでもらう子どもも楽しいし、「演じる」方も、語りやすい  
セリフでとても楽しいですよ。  
作者の村山壽子さんは大正～昭和前期に活躍した、  
高松市生まれの児童文学作家。夫の画家・村山知義とともに  
ユーモアあふれる童話をたくさん残してくれました。  
ぜひ読んでみてくださいね。

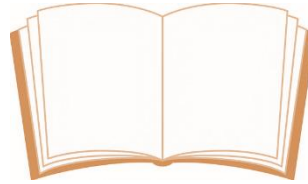
『さらやしきのおきく』



かつら ぶんが きやくほん  
桂 文我／脚本  
くすみ たくや え  
久住 卓也／絵  
どうしんしゃ しゅつぱん  
童心社／出版

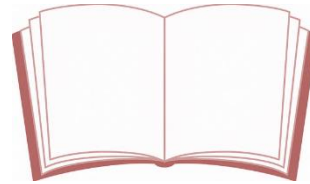
大切な血を一枚なくしたという濡れ衣をきせられ、  
井戸になげこまれた「おきく」。  
無念の故、幽霊になり、夜な夜なあらわれては、  
いちま～い、にま～い…と血を数え、  
最後には、濡れ衣をきせた代官を呪い殺す…  
というおはなしは、よく知られている番町血屋敷。  
この紙芝居では、続きがあり、村人たちが幽霊の  
「おきく」を一目見ようと、井戸へ出掛ける様子が  
描かれています。  
さて、村人達は「おきく」を見ることのできたので  
しょうか？  
ひねりのきいたラストをどうぞお楽しみください。

『うどんくんとおそばちゃん』



とよた かずひこ/脚本・絵  
どうしんしゃ しゅつぱん  
童心社/出版

うどんくんとおそばちゃんは、大の仲良しです。  
ある日、おそばちゃんが、カラスにねらわれます。  
そこでうどんくんは、「体」をはっておそばちゃんを  
まもります。  
さて2人は、どうなったのでしょうか。  
ユーモアたっぷりのストーリーは、親子で楽しめます。

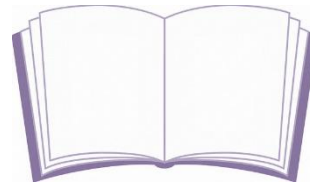


『ハムスターのぼうけん』

なつめ しまご きやくほん え  
夏目 尚吾／脚本・絵  
どうしんしゃ しゅつぱん  
童心社／出版

幼稚園で飼われている2匹のハムスターは、ひまわりの  
種をいっぱい食べて少々太り気味。かごの中にいるの  
がきゆうくつになって外に出てみたいと抜け出します。  
いなくなったことに気づいた子どもたちは大騒ぎ。  
無事見つけることができるでしょうか。ハムスターの  
飼育方法も書かれているので参考にしてみてください。

『きんのおの ぎんのおの』



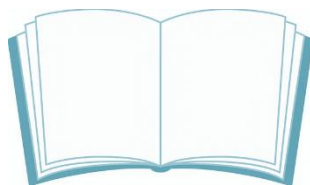
やえがしな おこ/脚本  
すずき コージ/絵  
どうしんしゃ しゅつぱん  
童心社/出版

イソップ童話が原作のおはなしが、やえがしなおこの  
文章とスズキコージの絵による紙芝居になりました。  
働き者で正直なきこりが、池の中の神様から、金と銀  
のおのをほうびにもらうおはなしです。  
反対にうそつきなきこりは、自分のおのもなくしてし  
まいます。  
よく知られたおはなしですが、今までの、昔話には  
ない独特の色づかいと、人物の表情に童話の世界に  
引き込まれてしまいそうです。

～大人の読書タイム～「新書」



新書は本の形態の名称で、コンパクトなサイズが手に取りやすく、様々なジャンルのものが刊行されており、大変人気があります。新しい春に、新しい知識を求めてみませんか？



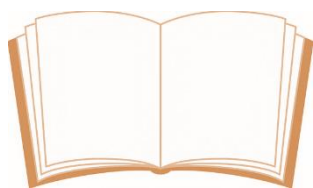
「SDGsは地理で学べ」  
ちくまプリマー新書

宇野 仙／著  
筑摩書房／出版  
290/ウノ

SDGs（エスディー・ジーズ）とは、地球環境や気候変動に配慮しながら、持続可能な社会をめざす国際的な取り組みで、2030年までに達成すべき17の目標が定められています。言葉は知っていても中身まではまだちょっと…という人におすすめがこの本。

「ちくまプリマー新書」は、プリマー＝入門書という名のとおり、ヤングアダルト世代を対象としていますが、大人にも読みごたえがある新書シリーズです。

生きるための図書館  
一人ひとりのために



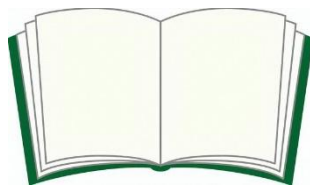
竹内 哲／著  
岩波書店／出版  
0104/タケ

著者の竹内さんは、60年以上図書館に携わり活動されてきました。

この本には全6章にわたり、これまでの図書館の活動、学校図書館の移り変わり、図書館サービス、司書の専門性など、細やかな視点で図書館のあり方が書かれています。

各章では、それぞれの課題を取り上げながら、これからの取り組み、そして、変化を続けていく図書館の未来へ向けたメッセージが綴られています。

図書館で働く人だけでなく、図書館に携わる全ての人に手にとってほしい一冊です。

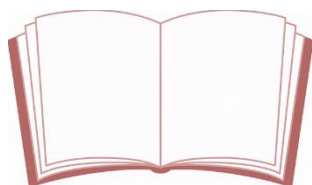


『天皇家の恋愛』

森 暢平／著  
中央公論新社／出版  
2884/モリ

明治天皇から眞子様まで150年にわたる皇室の結婚について、世相、政治、法律などの面から考察されています。側室制度から一夫一婦化へと向かった皇室は、その後、子供を手元で養育するという近代家族へと変貌します。常に大衆の関心の的となり、様々な条件の中での結婚にも、恋愛感情があったと私は思いたい。

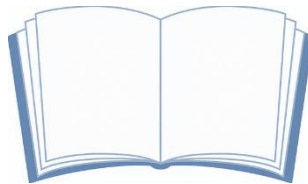
『やっぱり見た目が9割』



竹内 一郎／著  
新潮社／出版  
3614/タケ

劇作家・演出家である著者は、たくさんの人を見てきた経験と検証をふまえたうえで、人に与える印象は「見た目が大事」と述べています。ポイントは、目力、姿勢、仕事ができるような雰囲気など。その本質はいかに！春の就職活動の参考にこー読なさってみてはいかがでしょう。

『させていただく』の使い方



椎野 美智／著  
KADOKAWA／出版  
8158/シイ

最近よく見聞きする敬語の「させていただく」という表現。タレントや政治家の記者会見などでも広く使われています。

この本では、現状と歴史的経緯を調べながら、現在までの使用拡大の謎に迫ります。言葉は時代と共に変化していくものなので、今は違和感を覚える言葉もやがて普通に使われるようになるのではと述べられています。

# おはなし会のお知らせ

国分寺図書館では毎月第2・第3・第4土曜日の14時から、研修展示室でおはなし会を開催しております。絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなど、たくさん用意してお待ちしております。予約は不要ですので、お気軽にいらしてください。

第2土曜日 図書館ボランティア  
第3土曜日 おはなしぽけっと  
第4土曜日 だんだんだんご



※R5年4月のおはなし会は、香川県議会議員選挙、高松市議会選挙、高松市長選挙のため中止です。

## キッズ読み聞かせ隊養成講座スタート

R5年度の子どもボランティア養成講座が始まりました。この講座は、図書館での読み聞かせ活動に協力していただくための基礎講座で、小学4年生から小学6年生を対象とし、読み聞かせの基本、手遊びなど、全2回の講座を受講していただきます。

現在、国分寺図書館では小学5年生から高校2年生まで、7名のメンバーが在籍しており「キッズ読み聞かせ隊」の名称で活動しています。

キッズ読み聞かせ隊の主な活動としては、2か月に1度の図書館でのおはなし会、図書館行事でのアシスタントをお願いしています。

新メンバーは5月のおはなし会がデビューとなります。これからの活躍が楽しみです。



図書館でのおはなし会



R4年度の養成講座

## ～図書館屋上防水工事終了と館内カーペット貼り換えのお知らせ～

昨年9月から始まった図書館屋上防水工事が終了しました。

期間中は、騒音など、皆様にご迷惑をおかけしましたが、無事完了しました。

また、館内カーペットの貼り換えも行いました。

今後も適切な修繕をしながら、施設が安全で快適な環境であるよう努めてまいります。

